

続いて、2つ目のシチュエーションとして、論文データベースの検索結果からフ ルテキストを入手する方法をみてみましょう。



これは、日本語論文を探すときによく使われるデータベース、CiNii Researchの 検索結果画面です。

CiNii Researchにはこのように、オレンジ色のリンクが付いていることがあります。

例えば、右側の「機関リポジトリ」というリンクをクリックすると、出版元の Webサイトにいって論文のフルテキストがPDFで入手できます。一番簡単な方 法です。



一つ注意してもらいたいことがあります。

CiNii Researchに限らず、各種データベースではさまざまな論文フルテキストへのリンクボタンが表示されています。

ただ、これらはあくまでデータベース側が表示させているものであって、必ずし も阪大で見られるとは限りません。

つまり、リンクボタンをクリックしてもフルテキストが利用できないことがあり ます。

逆に、阪大で利用できるものにもリンクボタンが付いていないことがあります。

ではどうすればよいのでしょう。

実は、阪大で論文フルテキストが手に入るかどうかが簡単に分かる方法がありま す。

電子 or 紙の雑	誌が阪ス	大で	使えるた))確認	
検索結果に表示されている以下	のボタンをクリ	ック 4	例		
CiNii Research、Web of Scopus、MEDLINE etc.	cience	aka U]		
JDreamIII	My Collection	➡ 7	大阪大学SFX		
CAS SciFinder Discovery Platform for Academics	Full Text 🗸		Osaka Univ. SFX		
Google Scholar	[HTML] wiley.com Find it @Osaka University				
PubMed 阪大專 生命科	朝日入口から入る必 学図書館のWebサ	要がある イトから	アクセス		
					20

それがOsaka Uと書かれたいちょうマークのアイコンです。

CiNii Researchも含めて、多くのデータベースでこのいちょうマークが表示され ます。このボタンをクリックすることで、電子ジャーナルや紙の雑誌が阪大で使 えるかどうかをチェックすることができます。

基本的にはいちょうマークなのですが、一部のデータベースではアイコン表示が 異なっていたり、表示がなかったりするのでご注意ください。

一番下のPubMedという医学系論文のデータベースでは、いちょうマークを表示 させたいときは阪大専用の入口からアクセスする必要があります。図書館の WebサイトにはPubMedの阪大専用入口を用意していますので、そちらから入っ てください。

ひとつ、CiNii Researchでの例を見てみましょう。

https://cir.nii.ac.jp/crid/1521980704613472512

こちらの論文は、先ほどのオレンジ色のリンクをクリックしても論文フルテキス トが入手できないものです。

ところが、Osaka Uアイコンをクリックすると、論文フルテキストへのリンクが 表示されます。実はPDFファイルを利用できる論文です。

こういったケースもありますので、データベースの検索結果からOsaka Uのアイ コンをクリックして確認する、という癖をつけてください。

電子 or 紙の雑誌が阪	大で使えるか確認
♀ 大阪大学 電子リソースリスト	【本文を見る】 電子ジャーナル(契約 or フリー公開)が あればリンクが表示される ※利用可能範囲に注意(灰色の文字)
は文名: 地域で医師を育てる(特集へき地區産を考える:日本のへき地を支えるプライマリ・ケア医の重要性)→(専門職道携教育) 著者: 平井登山 現私費料: 注意 ISSN: 0022-5207 著: 96 町: 1 ページ: 53-57 A <u>XBAZで4期にできるが広</u> *25436 Medical Online Library でフルテキストを発る 和に聞いたいまう? issues.3	【大阪大学の所蔵を確認する】 紙の雑誌が阪大にあれば 蔵書検索(OPAC)へのリンクが表示される ※「GO」をクリックするとOPACへ移動
Nex Feeder 10001113/ Ind available 天阪大学版書終余 ② 1 おうよりなした。 1 約つかりなした。 1 第2025207] R2時所 [29-35,36(1-6),37-58,59(1,3-12),60-62,63(1-3,5-12),64-67,68(1-6,8-12),69-100,101(1-4) (1947-2019) + マタムから見を意味したななな意味ます。 学外からの文献取否せ を申し込む ③	【学外から文献を取寄せる】 電子ジャーナルも紙の雑誌も無いときは 「ILLサービス」の利用を検討する
む大学から文献を取得せるサービスです(年料)、大阪大学に用意していないことを確認してからお申込みください。	21

いちょうマークのアイコンをクリックすると、「大阪大学電子リソースリスト」 という画面が表示されます。先ほども一度出てきましたね。 この画面について、もう少し紹介します。

大きく3つの部分に分かれています。

1つ目が「本文を見る」という部分です。

ここでは、電子ジャーナルが利用できるかどうかを判断します。 枠の下のグレーの Available from の部分を確認してください。この範囲から外 れている巻号の場合、フルテキストを入手することはできません。

「本文を見る」にリンクが表示されない場合、次は「大阪大学の所蔵を確認す る」のところを見てみましょう。

ここでは、阪大に紙の雑誌が所蔵されているかどうかが表示されます。 右側の「GO」をクリックすると、蔵書検索(OPAC)の画面に移動します。 先ほど説明したように、OPACの「配架場所」と「所蔵巻号」欄をチェックして、 読みたい論文が載っている巻号を所蔵しているかどうかを確認してください。

電子ジャーナルも紙の雑誌も無い場合は、一番下、「学外からの文献取寄せ」と いう手段を検討しましょう。

「ILLサービス」と言います。4.で詳しく紹介します。



参考までに、阪大で契約しているデータベースへのアクセス方法をご紹介します。 図書館のWebサイト、トップページの上の方に検索窓があります。 検索窓の上にある「データベース」のタブをクリックしましょう。

データベースの一覧や、キャンパス外から使うときのアクセス先が表示されます。 みなさんがまだ知らないデータベースがあるかもしれません。ぜひ目を通してみ てください。



2つ目のシチュエーションとして、論文データベースの検索結果から、フルテキ ストを入手する方法を紹介しました。 Osaka U.アイコンをクリックして、電子ジャーナルや紙の雑誌が利用できるか どうかを確認する習慣をぜひつけてください。